

CACNA1S mutation-associated dental anomalies: A calcium channelopathy. *Oral Dis.* In Press.

- 4) Kantaputra P, Niramol Leelaadisorn, Athiwat Hatsadaloi, Natalina Quarto, Worrachet Intachai, Sissades Tongsimma, Katsushige Kawasaki, Atsushi Ohazama, Chumpol Ngamphiw, Paswach Wiriyakijja. A mutation in CACNA1S results in impaired calcium homeostasis and dental anomalies. *Diagnostics.* In Press.

【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 前田健康, 川崎真依子: 代生歯堤の形成・維持メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19591, 2022.
- 2) 大峽 淳, 川崎真依子: 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 課題番号 21H03122, 2022.
- 3) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 顎顔面領域におけるシグナル経路のクロストークと一次線毛との関わりについて. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 17K11829, 2022.
- 4) 川崎勝盛, 大峽 淳: 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10182, 2022.
- 5) 石田陽子, 川崎勝盛, 大峽 淳: 下顎骨形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10088, 2022.
- 6) 丹原 惇, 大峽 淳, 川崎真依子, 川崎勝盛: 舌誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 20K10156, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大峽 淳: 形作りの原理を紐解く～形や数の異常の理解へ～/新潟大学歯学部同窓会, Zoom, 2022 年 4 月 23 日
- 2) 川崎勝盛: 顎顔面の発生過程における一次線毛の機能解明, 新潟, 第 5 回共用設備基盤センターシンポジウム, 2022 年 10 月 18 日
- 3) 大峽 淳: 胎生期の器官形成におけるストレスの解明, 第 11 回知の広場サイエンスセミナー, Zoom, 2023 年 1 月 19 日

【学会発表】

- 1) 工藤武久, 丹原惇, 北村円, 大峽淳, 齋藤功: Ifit8 は Shh シグナル経路を介してエナメル形成を調節する, 第 37 回 甲北信越矯正歯科学会学術大会 2022 年 6 月 26 日, 新潟

口腔生理学分野

【著 書】

- 1) 山村健介 咀嚼の本 3 噛むことの大切さを再認識しよう p41, 82. 口腔保健協会, 東京, 2022.
- 2) 岡本圭一郎 令和 4 年度版出題基準 歯科衛生士国家試験ポイントチェック 1 p14-69, p103-112. 医歯薬出版, 東京, 2022.

【論 文】

- 1) Mana Hasegawa, Kajita Piriyaprasath, Masanori Otake, Rantaro Kamimura, Isao Saito, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Effect of daily treadmill running exercise on masseter muscle nociception associated with social defeat stress in mice European J Oral Sciences 130(4) e12882 2022.
- 2) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介: 日常的なガム咀嚼トレーニングが若年者の咀嚼機能および咀嚼行動に及ぼす影響. 日本咀嚼学会雑誌 32 (2): 1-10, 2022.

【商業誌】

- 1) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, Kajita Piriyaprasath, 藤井規孝, 山村健介: エクササイズは顎顔面部の慢性痛を軽減する? 歯界展望 140(2): 217-220, 医歯薬出版, 東京, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 山村健介, 黒瀬雅之, 内山美枝子, 佐藤大祐, 岡本圭一郎, 新井映子, 小林琢也: 認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 22H03375, 2022-2025.

【学会発表】

- 1) Kajita Piriyaprasath, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto ストレス伝染はマウスの咬筋侵害応答を増大する. 第 100 回日本生理学会 (京都) 2023 年 3 月 15 日.
- 2) Jorge Saez Chandia, Keiichiro Okamoto, Mayumi Taiyoji, Kotaro Aihara, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Yoshito kakahara Effect of Sake lees (sake-kasu) on osteoblastic differentiation and bone metabolism. 日本農芸化学会 2023 (Web) 2023 年 3 月 14 日.
- 3) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaprasath, Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Takeyasu Maeda, Makoto Inoue

Activation of posterior belly of digastric muscle during swallowing. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting. (San Francisco, USA) 2023 年 3 月 15 日.

- 4) Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Kajita Piriyaprasath, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Makoto Inoue. Functional role of posterior belly of digastric muscle in swallowing in the rat. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市) 2022 年 9 月 23 日
- 5) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 意図的に嚥むことの習慣化による、咀嚼に関連する前頭前野の活動の促進. NEURO2022 (沖縄コンベンションセンター), 沖縄 2022 年 6 月 30 日.
- 6) 吉岡望, 黒瀬雅之, 佐野裕美, 知見聡美, 山村健介, 南部篤, 竹林浩秀: dystonia musculorum マウスの運動異常における感覚運動回路の役割. NEURO2022 (宜野湾市民体育館), 沖縄 2022 年 7 月 1 日.
- 7) 山村健介: 生理学からみた咀嚼. 日本咀嚼学会学術講演会 2022 (日本歯科大学), 東京, 2022 年 12 月 3 日.
- 8) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の習慣化が若年者の認知課題関連脳活動に与える効果の検討. 生体医工学シンポジウム 2022 (オンライン) 2022 年 9 月 10 日.
- 9) Tatsuya Suzuki, Yukina Miyazaki, Ryo Takehara, Sotaro Shimada, Yoko Hasegawa, Syogo Yoshimura, Ma Therese Sta. Maria, Kensuke Yamamura, Takahiro Ono, Yumie Ono: Evaluation of systemic artifact removal methods for functional near-infrared spectroscopy signals. 生体医工学シンポジウム 2022 (オンライン) 2022 年 9 月 10 日.
- 10) 新沼小百合, 森川和政, 熊谷美保, 山村健介, 黒瀬雅之: 在宅での使用を念頭においた多軸触圧センサを活用した小型粘度計開発, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第 33 回学術大会, 徳島, 2022 年 10 月 1 日.
- 11) 長谷川陽子, 吉村将悟, 鈴木達也, 白水雅子, サンタマリアマリアテリース, 山村健介, 小野弓絵, 小野高裕: 摂取食品に対する情動変化が脳神経活動に与える影響. 日本顎口腔機能学会 第 68 回学術大会, 新潟, 2022 年 12 月 17 日.
- 12) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース,

堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼機能の変容による認知機能と脳活動パターンの変化. 日本顎口腔機能学会 第 68 回学術大会, 新潟, 2022 年 12 月 17 日.

- 13) 鈴木達也, 宮崎透奈, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 近赤外分光法を用いたガム咀嚼課題中の脳血流計測および皮膚血流ノイズ除去手法の評価. 日本顎口腔機能学会 第 68 回学術大会, 新潟, 2022 年 12 月 17 日.

【その他】

- 1) 山村健介: 咀嚼をつかさどる脳と身体のしくみ. 日本咀嚼学会 第 22 回健康咀嚼指導士認定研修会 (オンライン) 2022 年 7 月 13 日~7 月 27 日.
- 2) 岡本圭一郎: 新潟発・生活習慣の工夫による健康増進法. 大阪大学・歯学部大学院特別講義 大阪 2023 年 2 月 3 日.
- 3) 岡本圭一郎: 米由来食品でストレスを解消する令和 4 年度後期 新潟大学公開講座 新潟市 2022 年 11 月 12 日.
- 4) 岡本圭一郎: 百薬の長「日本酒」のヒミツ. 令和 4 年度「そのき市民学級 人生百年時代 賢く生きる」新潟市 2022 年 10 月 5 日.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Komatsu A, Iida I, Nasu Y, Ito G, Harada F, Kishikawa S, Moss SJ, Maeda T, Terunuma M. Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum. *J. Biol. Chem.* 2022 May; 298(5):101933.
- 2) Chen X, Ravindra Kumar S, Adams CD, Yang D, Wang T, Wolfe DA, Arokiaraj CM, Ngo V, Campos LJ, Griffiths JA, Ichiki T, Mazmanian SK, Osborne PB, Keast JR, Miller CT, Fox AS, Chiu IM, Gradinaru V: Engineered AAVs for non-invasive gene delivery to rodent and non-human primate nervous systems. *Neuron.* 2022 Jul; 110(14): 2242-2257.
- 3) Ibano N, Inada E, Otake S, Kiyokawa Y, Sakata K, Sato M, Kubota N, Noguchi H, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Kakiyama Y, Maeda T, Terunuma M, Terao Y, Saitoh I. The Role of Genetically Modified Human Feeder Cells in Maintaining the Integrity of Primary Cultured Human Deciduous Dental Pulp Cells. *J. Clin. Med.* 2022 Oct;